近世22.7-05-094

05-094

東京大学文学部・人文社会系研究科
University of Tokyo Faculty of Letters / Graduate School of Humanities and Sociology

東京大学文学部・人文社会系研究科
University of Tokyo Faculty of Letters / Graduate School of Humanities and Sociology

役人替名

浦島八十之助 実ハ赤松蒲右衛門子十太郎

後の浦島正則

[illegible]

第一 博多町の柳巷に縁川小由府と飛病の事
并ニ 小野崎形をおり川くて大人の形ととりなる

第二 朝倉山の怪異に浦松赤松の本性を顕す事
附り 壬蔵川の園執り再会小中郎左衛門ぐ逐ふる事

第三 光弥山の剣髪に貞行意徒に網を一時元の事
并て 武道術の術際り一代の心利えんどの事

第四 筥崎大山の怪事に儀傷の変幻と遇る事
附り 若書破衣しくて路士の恩を報ずるの事

第五 芦屋鋪の旧鳥楮に大夫へ面謁の事
并て 大祠鎮母が滅影より石抱るの事

第六 宗田家の禁獄に孝養頼母の術を養の事
附り 孝養貞の一念よりて魂生をひくる事

第七 大亀谷の奈此に孝養が死骸大十郎発生の事
并て 連ぎ琴りて若君頭代を失ひんとする事

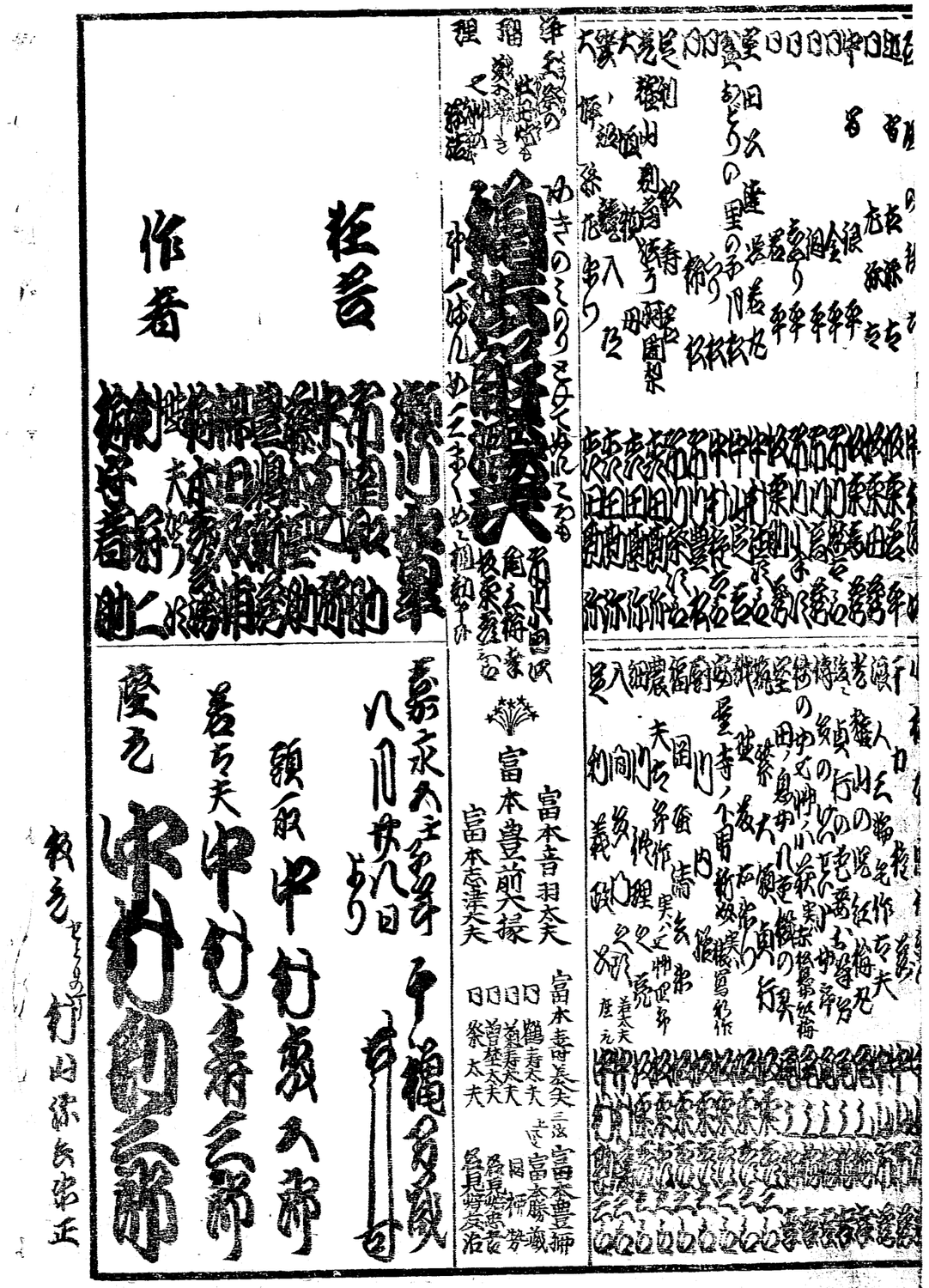
第八 箱崎国の上錦に貞行あやしく飲酒る事
附り 国川の先君の迷物にとりて旅のる事

第九 同庭前の多木に浦島が思議を見する事
并て 我世が実に雅川志はたせりふくのる事

第十 久留島の猿泊に鏡門路国家の猶を述る事

第十一 浅川谷の大降に鏡川野路谷の事
并て 小松の演義に婦が岩佐所谷豊能の事

第十二 浴塁国の今国の上家に今を催す処ぐ見い恨さ数の事
大尾 浴士の岩鼓に家得券平のる



東京大学文学部・人文社会系研究科
University of Tokyo Faculty of Letters / Graduate School of Humanities and Sociology

東京大学文学部・人文社会系研究科
University of Tokyo Faculty of Letters / Graduate School of Humanities and Sociology